

## 藤原 帰一 (ふじわら きいち)氏 略歴

(昭和 50 年卒、国際政治学者、東京大学大学院法学政治学研究科教授)



1956 年 6 月 16 日生まれ。

1975 年麻布高校卒業。

1979 年東京大学法学部卒業。

1984 年同大学大学院博士課程単位取得満期退学。フルブライト奨学生としてイェール大学大学院に留学。

千葉大学助教授、東京大学社会科学研究所助教授を経て、1999 年 4 月より現職。

海外ではフィリピン大学アジアセンター客員教授、米国ウッドローウィルソン国際学術センター

一研究員、ジョンズ・ホプキンス大学高等国際研究院客員教授、英国ブリストル大学客員教授などを歴任し、2007 年より放送大学客員教授を兼任。

専門は、国際政治学、比較政治学、フィリピンを中心とした東南アジア研究。

2001 年に刊行した『戦争を記憶する』が、折からの歴史認識論争のなかで注目された。同時多発テロ事件以後は総合雑誌や新聞など論壇活動が増えていき、朝日新聞の論壇時評も手がけた。

また 2002 年以後は、NEWS23(TBS)、報道特集 NEXT(同)、日曜討論(NHK)、視点・論点(同)、BS きょうの世界(同)ワールドビジネスサテライト(テレビ東京)などテレビ出演も多い。2010 年 4 月からはテレビ朝日「サンデー・フロントライン」のレギュラーを務める。

2011 年 4 月からは『朝日新聞』夕刊に月一回のコラム「時事小言」を執筆中。また、放送大学にて国際政治の講義を担当している。

### 【最近の著書】

『国際政治』(放送大学教育振興会, 2007 年)

『新編 平和のリアリズム』(岩波書店, 2010 年 旧版は第 26 回石橋湛山賞受賞)

『アメリカの影のもとで—日本とフィリピン』(永野善子と共編、法政大学出版局, 2011 年)

『戦争の条件』(集英社新書, 2013 年)